

SDGsの達成に向けた取り組み

SDGs (2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標) については、新たなCSR基本方針 (P42参照) において、SDGsで示されたゴールを念頭におき、重点課題 (マテリアリティ) を特定するなど、その達成に向け、持

続可能な社会の創造に寄与する事業を展開していくこととしています。

2018年5月に発表した「日本郵政グループ中期経営計画2020」においては、重点課題、目指す姿、具体的な取り組み、2020年度の目標を以下のとおり示しています。

重点課題		目指す姿	取組	2020年度目標
①ユニバーサルサービスの提供		お客様の生活を最優先し、社会の重要なインフラである郵便局ネットワークを基盤に、お客様の人生のあらゆるステージで必要とされる商品・サービスを提供する	<ul style="list-style-type: none"> 郵便局ネットワークの維持とユニバーサルサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な郵便局ネットワークによるユニバーサルサービスの提供
(地域社会と共に) ②健康的な暮らしの促進 ③次世代育成 ④地域社会の発展・活性化	  	誰もが安心して健やかに暮らせる、安全で豊かな社会、そして、それを未来へと引き継いでいく持続可能な社会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 郵便局のみまもりサービスの拡大 ラジオ体操の普及推進 かんぽプラチナライフサービスの推進 手紙振興 金融教育 (小学校等への出前授業、ゆうちょアイデア貯金箱コンクール) 地方公共団体との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 郵便局のみまもりサービス等の推進継続
(地球と共に) ⑤温室効果ガス排出量の削減 ⑥資源の有効利用と廃棄物の削減	 	気候変動や地球温暖化に配慮し、企業活動を通じて積極的に社会に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> 緑地整備による地域コミュニティの再生 無通帳型総合口座の利用拡大に伴う環境保全活動支援 「ご契約のしおり・約款」のWeb版の提供に伴う寄付の実施 	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量2016年度比▲4.7万t (▲4.4%)減
(人と共に) ⑦人材の育成 ⑧働き方改革		社員一人ひとりが生き生きと能力を十分に発揮し活躍できる	<ul style="list-style-type: none"> キャリアパスに応じた研修 (階層別、フロントラインリーダー研修等) グループ合同研修 (総合職転換者研修、新任役員研修等) 女性活躍推進 (女性の役職者登用等) 障がい者雇用の推進 性の多様性 (LGBT) の理解促進 育児休業・介護休業取得推進 働き方改革 (労働時間削減等) 従業員の健康保持・増進 	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理者比率 日本郵便：10%以上 ゆうちょ銀行：14%以上 かんぽ生命保険：14%以上 日本郵政：11%以上 障がい者雇用率グループ目標2.5%の達成維持
⑨公正な事業慣行		経営の透明性を自ら求め、規律を守り、社会と地域の発展に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> グループコンプライアンスの徹底 反社会的勢力との関係の遮断 	<ul style="list-style-type: none"> 部内犯罪件数ゼロ 反社会的勢力との関係遮断の継続